

第1回木曾川町連区地域づくりアンケート調査結果

町会長、班長（組長）の皆さんにお手伝い頂いたアンケート結果がまとまりましたので報告します。今回は、木曾川町連区全体の集計結果と、地域性のある調査項目についてのみ各小学校校区別の調査結果を掲載しました。回答欄のその他や地域づくり協議会へのご意見・ご要望は、今後改めて報告する予定をしています。

★ 調査概要

1. 調査の目的

木曾川町連区の住民が日頃感じている現状や問題点を把握して、今後の地域づくりに生かすための基礎資料とする。

2. 調査の方法

調査対象者 : 町会長及び班長（組長）等
 調査方法 : 町会長を通じて配布・回収
 調査期間 : 平成28年12月20日 締切
 配布・回収状況 : 有効回収数 1,408人（回収率80%）
 （木曾川町連区住民 34,155人の4.1%）

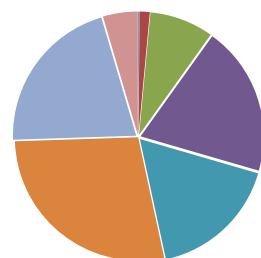
地域別回収数

小学校区	地域（区）	配布数	回収数			回収率
			男性	女性	計	
西小校区	西割田	114	50	56	106	93%
	玉ノ井	362	147	155	302	83%
	里小牧	252	108	112	220	87%
	計	728	305	323	628	86%
黒田小校区	北黒田東部	202	79	85	164	81%
	北黒田西部	230	99	102	201	87%
	内割田	98	33	34	67	68%
	東割田	52	19	20	39	75%
	計	582	230	241	471	81%
東小校区	門間	142	48	51	99	70%
	南黒田	316	95	115	210	66%
	計	458	143	166	309	67%
合計		1768	678	730	1408	80%

* 回収率は西割田が93%と最高で全体は80%でした。

年齢別回収数

	男性	女性	計	割合
20歳未満	1	3	4	0.3%
20歳代	9	19	28	2.0%
30歳代	57	71	128	9.1%
40歳代	133	153	286	20.3%
50歳代	116	146	262	18.6%
60歳代	189	198	387	27.5%
70歳代	142	116	258	18.3%
80歳代	31	24	55	3.9%
合計	678	730	1408	100.0%



- 20歳未満
- 20歳代
- 30歳代
- 40歳代
- 50歳代
- 60歳代
- 70歳代
- 80歳代

* 40歳～70歳で84%を占めています。町づくりを担う世代の年齢構成が表れています。

★ アンケート結果

★ 防災

避難場所を知っていますか	はい 84%	いいえ 16%		
避難場所まで自力で行けますか	はい 94%	いいえ 6%		
避難支援を期待する相手は	隣人 47%	町内役員 7%	消防署 38%	その他 9%

**近助が54%、公助が38%、その他は親類、友人でした。
災害時の避難支援は、向こう三軒両隣が頼りです。*

★ 防犯

身近に危険を感じる犯罪	空き巣 82%	痴漢 5%	振り込め詐欺 9%	その他 3%		
有効な防犯対策	防犯カメラ 30%	防犯パトロール 27%	声かけ運動 42%	その他 1%		
街灯は十分配置されているか	西小校区 はい 62%	西小校区 いいえ 38%	黒田小校区 はい 58%	黒田小校区 いいえ 42%	東小校区 はい 63%	東小校区 いいえ 37%
防犯パトロールはありますか	西小校区 はい 29%	西小校区 いいえ 71%	黒田小校区 はい 38%	黒田小校区 いいえ 62%	東小校区 はい 65%	東小校区 いいえ 35%
防犯パトロールが必要ですか	西小校区 はい 75%	西小校区 いいえ 25%	黒田小校区 はい 74%	黒田小校区 いいえ 26%	東小校区 はい 81%	東小校区 いいえ 19%
防犯パトロールに参加しますか	西小校区 はい 29%	西小校区 いいえ 71%	黒田小校区 はい 28%	黒田小校区 いいえ 72%	東小校区 はい 35%	東小校区 いいえ 65%
防犯カメラは設置されていますか	西小校区 はい 26%	西小校区 いいえ 74%	黒田小校区 はい 16%	黒田小校区 いいえ 84%	東小校区 はい 18%	東小校区 いいえ 82%
防犯カメラが必要ですか	西小校区 はい 85%	西小校区 いいえ 15%	黒田小校区 はい 89%	黒田小校区 いいえ 11%	東小校区 はい 88%	東小校区 いいえ 12%
町内会から資金を調達してでも設置したほうが良い	西小校区 はい 67%	西小校区 いいえ 33%	黒田小校区 はい 65%	黒田小校区 いいえ 35%	東小校区 はい 68%	東小校区 いいえ 32%

**最も危険を感じる犯罪は、空き巣が82%と圧倒的です。
有効な対策は、声かけ運動42%次いで防犯カメラ30%、防犯パトロール27%ですが、
防犯パトロールが実施されている地域には差が出ています。
防犯カメラへの期待の高さが顕著です。*

★ 高齢者福祉

高齢者が困っていること	町内の役務ができない	はい 55%	いいえ 45%
	買い物や病院への移動手段が無い	はい 43%	いいえ 57%
	話し相手が無い	はい 38%	いいえ 62%
	ゴミ出しが大変	はい 45%	いいえ 55%

*多くの高齢者が、日常生活の支援を必要としています。

敬老会について	現状のままで良い	はい 80%	いいえ 20%	
	いいえと答えた方に尋ねた改善策	規模を小学校単位にする	はい 67%	いいえ 33%
		芸能人企画は不要	はい 52%	いいえ 48%
		記念品の配布を見直す	はい 69%	いいえ 31%

*80%が現行を容認しています。
しかし、今後高齢者の増加によって、改善が必要になることも考えられます。

高齢者の健康維持について

週に何回運動をしていますか	3回以上 20%	1~2回 25%	していない 55%
近くに運動できる場所や施設がありますか	西小校区	はい 58%	いいえ 42%
	黒田小校区	はい 56%	いいえ 44%
	東小校区	はい 65%	いいえ 35%

整備して欲しい施設やサービスについて

バスについて	バスを利用していますか	はい 8%	いいえ 92%	
	利用していない理由	停留所が遠い	はい 53%	いいえ 47%
		遠回りで時間が掛かる	はい 79%	いいえ 21%
		乗り方がわからない	はい 41%	いいえ 59%

*利用者はわずか8%です。利用しない理由は、'遠回りで時間が掛かる' 79% '停留所が遠い' 53%、'乗り方が解からない' 41%です。

集会所(サロン)について

利用していない理由	近くにないから	はい 66%	いいえ 34%
	サロンのことがわからない	はい 84%	いいえ 16%
	一緒に行く仲間がいない	はい 71%	いいえ 29%

*集会所(サロンの)数の少なさと情報不足が課題です。

公園(子供の遊び場)が近くにありますか

西小校区	はい 69%	いいえ 31%
黒田小校区	はい 51%	いいえ 49%
東小校区	はい 53%	いいえ 47%

*地域差が見られます。

★ あなたの地域の活動状況

自主防災会は活動
していますか

西小校区	はい 45%	いいえ 55%
黒田小校区	はい 48%	いいえ 52%
東小校区	はい 34%	いいえ 66%

町内会や区単位の防災訓練や
避難訓練は必要ですか

西小校区	はい 78%	いいえ 22%
黒田小校区	はい 83%	いいえ 17%
東小校区	はい 72%	いいえ 28%

***訓練の必要性は認識していても、自主防災活動は十分でないのが現状です。**

通学児童の見守り
活動がされていますか

西小校区	はい 69%	いいえ 31%
黒田小校区	はい 57%	いいえ 43%
東小校区	はい 68%	いいえ 32%

活動していない 地域の方に	必要と思いますか	はい 76%	いいえ 24%
	参加できますか	はい 26%	いいえ 74%

***実施している地域も多くありますが、地域差があります。**

独居高齢者や障害者の
見守り活動がされていますか

西小校区	はい 21%	いいえ 79%
黒田小校区	はい 28%	いいえ 72%
東小校区	はい 22%	いいえ 78%

***各地区共に、高齢者・障害者の見守り活動の活性化が課題です。**

公民館事業について

公民館事業の活動内容を
知っていますか

はい 40%	いいえ 60%
--------	---------

知っている活動内容はどれですか

盆踊りの集い	25%
成人講座	16%
女性学級	8%
市民体育祭	42%
文化芸能祭	27%
その他	3%

公民館の活動に
参加したいと思いますか

はい 30%	いいえ 70%
--------	---------

地域づくり協議会について

地域づくり協議会を知っていますか

はい 43%	いいえ 57%
--------	---------

当協議会の活動内容を
知っていますか

はい 27%	いいえ 73%
--------	---------

知っている活動内容はどれですか

防災訓練	28%
親子着衣水泳	7%
協議会だより	25%
ホームページ	5%
その他	2%

当協議会の活動に
参加したいと思いますか

はい 14%	いいえ 86%
--------	---------

***地域づくり協議会、公民館事業共に、住民のみなさんの認知度の低さが課題です。
しかし、たくさんの方が活動への参加意欲があることも分かりました。
”是非、参加してください”**